

関西大学先端科学技術推進機構 研究部門別発表会（第58回）

先端科学技術推進機構では、見える研究成果の発信の機会を増やし、研究の活性化と融合・展開を図り、社会や産業界とのダイナミックな連携を目指しています。研究部門は、N(新物質・機能素子・生産技術)研究部門、I(情報・通信・電子)研究部門、B(生命・人間・ロボティクス)研究部門、E(環境・エネルギー・社会)研究部門の4部門で構成されており、それぞれの研究分野での研究が進められています。

主催: 関西大学先端科学技術推進機構
共催: 関西大学社会連携部産学官連携センター
後援: 関西大学科学技術振興会

I(情報・通信・電子)研究部門

「脳研究の最近のトピック」

日時 : 2019年4月25日(木) 12:30~14:30

場所 : 関西大学 千里山キャンパス
学術フロンティア・コア 3階 会議室

プログラム

12:30~14:00 《 講演 1 》

「脳と音楽の不思議な関係」

東京農工大学 グローバルイノベーション研究院 教授 田中 聡久

《 講演概要 》

日常には音楽が溢れています。脳は音楽に対してどの様に反応しているのでしょうか。我々は脳波を計測することで、知っている音楽とそうでない音楽で脳の反応に違いがあることを発見しました。本講演では、実験の方法、また、解析の方法と結果について解説し、聞いている曲に対する脳の反応をどの様に計測するのか、また、信号処理や機械学習が脳機能の解析に重要な役割を果たしていることを説明いたします。

14:00~14:30 《 講演 2 》

「色相差による視覚刺激の脳への影響」

関西大学 システム理工学部 電気電子情報工学科 教授 村中 徳明

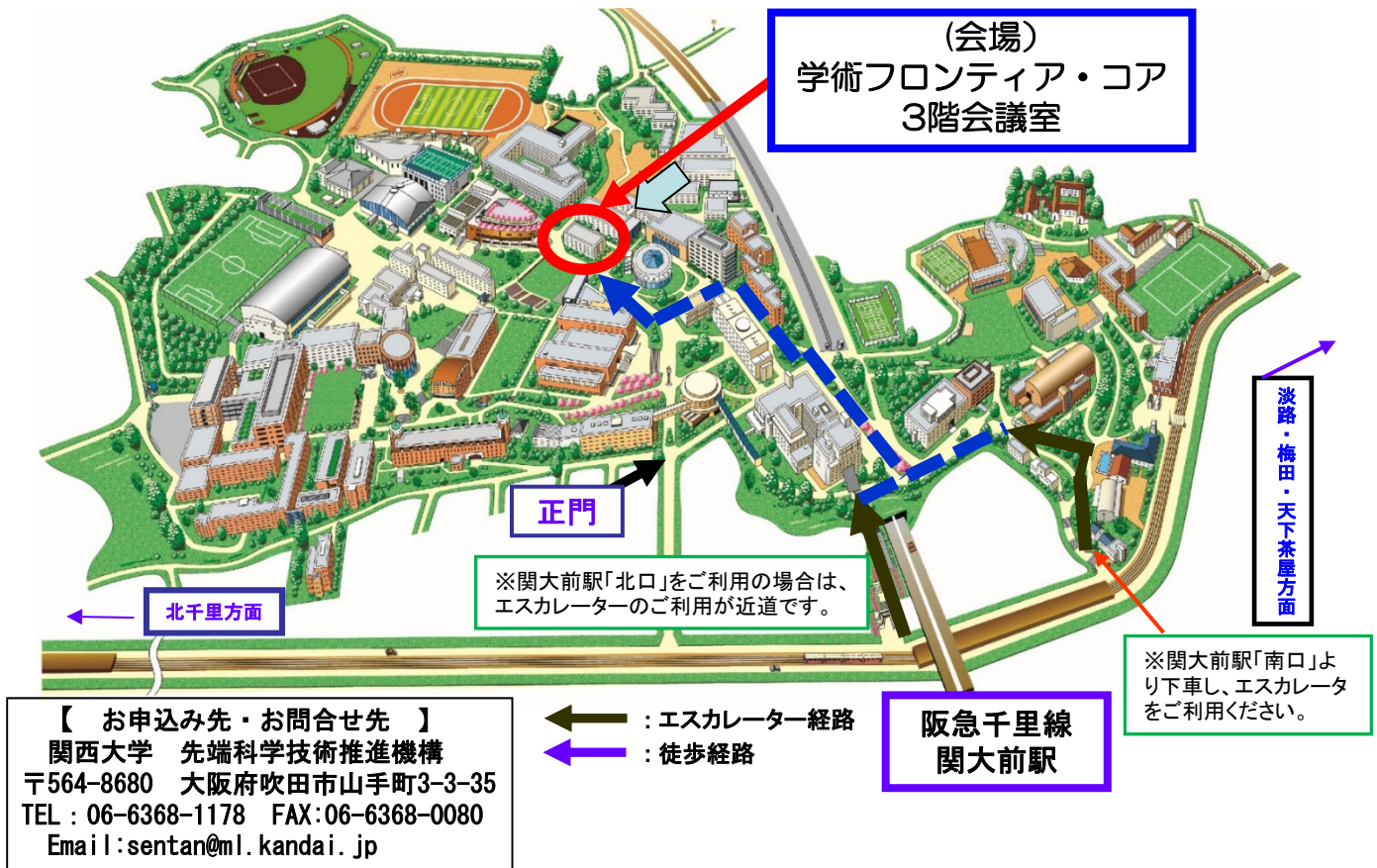
《 講演概要 》

長時間のディスプレイ画面の注視が視覚に与える刺激は、視力低下や色覚異常などの障害を引き起こすことが報告されてます。また、色が視覚刺激に及ぼす影響について多くの研究が行われていますが、2つ以上の色を用いた配色の違いによる視覚への刺激は、一部の主観的評価実験に留まっています。そこで、視覚による刺激は脳によって処理されるため、脳活動を視覚刺激の生理的な指標として計測することは可能であると考え、パターンリバーサル刺激の配色による色相差が視覚刺激にどのような影響を与えるか、脳の賦活量を計測する客観的評価実験を行った結果について報告いたします。

(2019-1)

【お申込み先・お問合せ先】 関西大学 先端科学技術推進機構
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL : 06-6368-1178 FAX : 06-6368-0080 E-Mail : sentan@ml.kandai.jp

関西大学 千里山キャンパス



FAX送信票 Fax: 06-6368-0080

関西大学 先端科学技術推進機構 行
 関西大学 研究部門別発表会(第58回) 申込書

会社・所属 (役職名)	()	(ふりがな) 氏名	
ご住所	〒 -		
電話番号	()	E-Mail	@
(学生の方)	所属学部・学科・研究科 ()		

■個人情報の取り扱いについて■
 ご提供頂きました個人情報は、本研究部門別発表会開催に際しての管理・連絡のために使用するとともに、関西大学からの産学官連携事業、地域連携事業でのお知らせに使用させていただきます。